

Pick Up News

オープンキャンパス(6月)では、多くの高校生・保護者が参加して下さいました。本学建築学科で学びたいという強い思いで来てくれた生徒が多かったです。東北工大建築学科ならではの特徴と魅力を高めて行きたいと思えます。さて、前期は最後の授業と定期試験を残すのみとなりました。課題等の提出に追われながら、夜遅くまで(いや、徹夜で)取り組む学生の姿も目立ちます。「なぜこんなに建築学科は忙しいのか」、「仙台の大学で一番忙しい学科に違いない」など悲鳴にも似た声も聞こえてきます。でも、そこで学んでいることを誇りに持って下さい！先輩方みんなが乗り越えてきた道です。目の前にあることを、必死で乗り越えていきましょう！必ず力になります。試験が終わると夏休み。日頃できない趣味や活動、旅行等をする絶好の時間です。皆さんいい夏休みを過ごして下さい！



サイエンス・デイ2017(7/16)
子ども向けのイベントにも積極参加



オープンキャンパス(6/24)

今年のオープンキャンパス(6月)も多くの高校生が来て下さいました。7月22日-23日には、実際の実験や演習を体験することもできます。建築学科での学びについて、より深く、広く知ることができる機会となります。建築を学ぶなら、東北工大へ！本学の建築学科の魅力をご存分にお伝えします。



「宅建」講習会 50名を超える学生
が取得目指して頑張っています！



リノベーション内覧会

深松組様との地域連携プロジェクト

として取り組んできたマンションのリノベーションプロジェクト。大学院生部門の最優秀案(M2佐藤未和)も実施に移され、無事竣工。一人暮らしの女性をターゲットにデザインされています。2つの空間を分ける要素として「斜め柵」が特徴です。



LEGO Architecture の制作(1年生)



ラウンジでつくる学生
建築学科には学生の居場所
がたくさんあります



学外でのさまざまなプロジェクトも進行中！
くりこま空き家再生、生出地区まちづくりなど

Pick Up Lab.

許研究室は、今年で十周年を迎えます。この10年間を振り返ってみますと、BIMと環境を中心とした研究基礎を築いてきました。着任した2007年にはBIM(建築情報モデル)の研究を始めました。その後、BIMによるデジタル環境設計ツール、災害時におけるIFC(BIMの標準規格)活用方策などの研究課題を通して、BIM情報の解析・応用一筋に研究を行ってきました。本研究室では、大学院生3名と4年生8名で研究活動を行っています。技術の統合を目指し、院生の青木信君を中心として、Arduino(マイコンボード)とBIM・環境設備の連携などについて研究しています。これからは、BIMと環境計測をキーワードに環境の見える化を実現していきます。



ゼミ風景



研究室風景



3年 高橋 雄平くん
鶴岡中央高校 出身

Pick Up Student

建築学科に入学してから2年が過ぎました。私は建築の分野に興味があり入学しましたが、高校は普通科だったので建築について何もかも分からない状態でした。でも、入学してすぐの建築ワークショップでは、身近にある建物を調べることで建築についてより深く学ぼうとするきっかけとなりました。また、初対面の人と交流することで新しい友人もできました。本学建築学科は普通科出身でも授業についていきやすい環境があります。授業の内容は徐々に難しくなり課題の量も多いのですが、大学で学んだことは将来に役立つので頑張っていきたいです。そして、今年は宅建試験を受験します。履修科目と両立して合格を目指しています！残りの大学生活を有意義なものにしていきたいです。



1年 三上 亜沙美さん
宮城広瀬高校 出身

Pick Up Student

東北工業大学に入学して、ようやく大学生活にも慣れてきました。私の在学していた高校は普通科で、しかも選択科目は文系だったため、理系科目を習っていませんでした。それでも建築を学びたいと思い東北工業大学に進学しました。この大学では物理、数学が苦手な人のための授業や、わからないことを1対1で教えてくれるサポートセンターもあり、学生一人ひとりに対するサポートがしっかりしていて安心します。苦手なことをそのままにすることなく、しっかり勉強が出来ます。そのおかげでサークル活動にも集中して取り組むことができます。今はまだ、自分と周りとの差に不安を感じることもありますが、4年後の自分自身の目標のために諦めず日々の努力を継続していきたいと思えます。